

佳作

小さな冒険

広島県 広島市立梅林小学校四年 山縣 乃暁

四月。待ちに待った「マツダズームズームスタジアム」ができました。

ぼくの好きな阪神タイガース戦を一人で見に行く事になりました。

家族のだれも行かなかった場所にJRに乗って一人で行くのです。もちろん始めは不安だったけど、そんなに遠くないし、広島駅からは、人の流れの方へついて歩けば大丈夫だと思いました。

でもお母さんは何度も、

「一人じゃ心配よ。行かんでもいいんだよ。」と言いました。そう言われれば言われるほどなぜか「行くぞ」という気になりました。

その日、ぼくは阪神の帽子をかぶり、JRに乗りました。列車の中には、同じように球場に行くんだらうなと思う人がたくさんいて、ちょっと安心しました。

広島駅に着いて、教えられたとおりの改札を出ると、駅前は野球ファンでいっぱいでした。

絶対に迷う事はない。と、うれしくなつて、スタジアムの方向へ走っていきましかです。自分の席をちゃんと見つけられる入り、たくさんの人につぶされそうになりました。ながら、ようやく席にたどりつきました。

新しい球場は、とても広くて、しばふがきれいです。珍しくて、席からはなれてうろうろしていたら、一人のおじさんが

「ぼく一人か？おむすび食うか？」

と声をかけてくれました。おむすびはことわったけど、いろいろ話を楽しくすごせました。

他にも、家族づれの人や若いお兄さんなども声をかけてくれたり、あめをくれたりしました。

試合は阪神の圧勝で、最後のばんざいや六甲おろしの合唱までして帰りました。

帰りのJRの中でも知らない人に

「今日、阪神勝った？」

と聞かれ、駅でおりるまで試合内容を話してわかったです。

駅で母さんが待っていてくれました。

「よう行ったね。楽しかった？」

ぼくは、試合の事はもちろん、その日会ったたくさんのお話を聞いてもらいました。

初対面の人と話をするのはとくいじゃないけど、一日で何人もの大人の人と平気で話が出来たなんて、考えたら初めての事で自分でもびっくりです。きっと、家族で行っていたら、こういう事はなかったはず。両親には心配かけたと思うけど、思いきって一人で行ってみて良かったです。

小さな小さな冒険だったけど、ぼくににとっては大きな一歩になりました。